

## 児童の道徳アンケートより

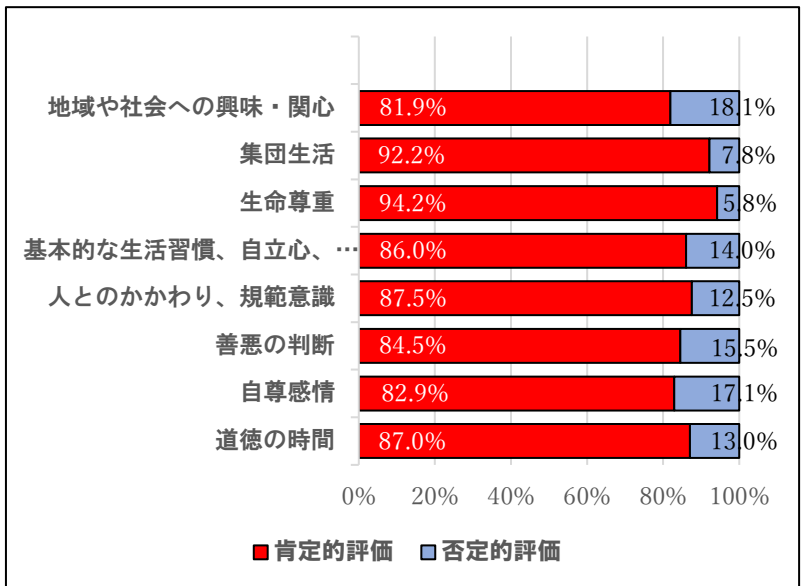
### 本校児童の特徴

- ・「生命尊重」「集団生活」の項目質問に対して、肯定的に捉えている児童が多い。
- ・「自尊感情」「地域や社会への興味・関心」の項目質問に対して、肯定的に捉えている児童が少ない。

2月に全学年児童を対象とした、道徳アンケートを実施し、右記のようなことが明らかになりました。

今年度から、特別の教科「道徳」という位置付けで、教科書を基に授業が展開されています。アンケートから、道徳の授業を肯定的に捉えている児童も多いことが分かり、本校児童の心の成長に向けて、明るい材料となっています。

しかしながら、授業だけでは心が成長できるとは言えません。学校での教育活動はもちろんのこと、家庭内や地域社会においても、心を育むことで、本校児童の課題は少なからず改善できると考えられます。



## 自尊感情を高めると

自尊感情が高い子どもは…

- 自分や他人の成功を素直に喜ぶ。
- 何事も最後までやり通す。
- 自分自身のことが好きになる。
- 自分の長所・短所を見つけ、伸ばす。
- 役割を見付けて、主体的に活動する。
- 「だって…」という言い訳が少なくなる。

今回のアンケートでは、他のカテゴリに比べ「自尊感情」の項目数値が低いことが分かりました。自尊感情とは、「自分の性格や特徴を認め、自分を尊重できる感情」を指します。また、自尊感情は「自己肯定感」や「自己有用感」という言葉につながります。

また、自尊感情を育てていくことで、相手への思いやる気持ち、寛容な心、やりぬく力が身に付き、学習面や生活面の成長につながります。

## 自尊感情を高める手立てとして

本校では、日常から自尊感情を高める取組を続けています。

- ・どの活動にも課題・目標をつくり、達成された時には教師・児童で喜びを分かち合います。
- ・コミュニケーションを大切に活動し、相手を認め合える風土をつくっています。
- ・『4つの「あ」』を実践することにより、きまりを通して正しく生活しようと心掛けています。

また、「道徳の時間」の教科化に伴い、道徳の授業にも力を入れています。本校としては、児童が自分自身を知り、仲間とともに成長できる人間になってほしいと願っています。学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを育てていきたいと思ひます。